



編集月旦 2014年4月号

★4年に1度の若者の祭典「オリンピック」の2020年・第32回(The Games of the XXXII Olympiad)の東京招致に成功しました。それとともにわが国は、高齢化トップランナー(金メダル候補)である日本高齢者の誇るべき国際主義の表現として、20年に1度の「高齢化に関する世界会議」(World Assembly on Aging・1982年ウイーン・2002年マドリード)の2022年・第3回の招致に務めて、ふたつの国際イベントを同時進行することが必要であるといえるでしょう。人材にも成果にも実績があるのですから。

☆首都・東京は、オリンピック開催の陰で年間5000人を超える「孤独死」がつづくような姿を来訪者の目にさらすようなことはあってはならないし、東京が負担なら、幕張メッセと成田国際空港とすぐれた「房総長寿社会憲章」(1992年制定・2022年は30周年)を持つ「千葉県」がいい。国際性をアピールするまたとないチャンスとなります。

★先行するわが国の高齢社会にかんする活動の「リソースセンター」をつくろうという呼びかけが、RISTEXのセミナー「コミュニティで創る新しい高齢社会のデザイン」で、秋山弘子領域総括からなされています。RISTEXの成果、内閣府の「環境未来都市構想」、小宮山宏・三菱総研理事長の「プラチナ構想ネットワーク」、柏市での「東京大学高齢社会総合研究機構」の成果をはじめ、全国の多くの地道な活動の成果を集積し、情報を提供し、支援し合い、アジアの高齢化途上国の要請にもこたえようというものです。

☆全社協が主催した「生活支援サービス推進セミナー」(3・24)での堀田力・さわやか福祉財団理事長の講演(「新地域支援構想会議の取り組みと新たな地域支援事業への考え方」)は再録いたします。地域活動の活性化をすすめる官学民構想の具現化は急務です。

☆各地各界の敬愛する高齢者のみなさんに呼びかけています。

◎「アベノミクス」の恩恵は高齢者にはとどかない。

◎このままでは格差がひろがって高齢者への敬意が薄れていく。

◎2014年は「団塊の世代(700万人)」すべてが高齢者の仲間入りをする。

4人にひとり・25%・3200万人に達した高齢者(65歳以上)が

- ・生活圏で新たな「モノ・居場所・しくみ」をつくりながら存在感を示すこと。
- ・エイジング・イン・プレイスで「長寿社会(平和の証)」の達成にむかうこと。
- ・国防軍ではなく平和な国際活動を内外に展開することで国を守る姿を示すこと。

◎上の趣旨にご賛同いただき、お仲間とくに「団塊の世代」の方に転送をお願いします。

迷惑mailに紛れつつも、e-mailの力を信頼して。

◎「月刊文風」は2012年5月の発刊です。3年目の2014年5月号から刊行支援(公開はつづけます)をお願いします。

1季・1コイン 半年・野口英世幣 「文風仁人貴人録」をつくります。

「吾聞、富貴者送人以財、仁人者送人以言」(『史記「孔子世家」』の老子のことば)
われ聞く、富貴なる者は人に送るに財を以ってし、仁人なる者は人に送るに言を以ってす。

失礼があればお恕ください。

***堀内正範 朝日新聞社社友(元『知恵蔵』編集長) 高連協オピニオン会員

E-mail mhori888@ybb.ne.jp

Tel & Fax 0475-42-5673 Keitai 090-4136-7811

〒299-4301 千葉県長生郡一宮町一宮 9340-8

Web 「文風の会」「月刊文風」<http://jojin.jp>

